

第7課 霊の結ぶ実は善意

安息日午後 今週のテーマ 善意は態度と行動

エレン・ホワイトは私たちの信仰生活に必要なものはリバイバル（霊的覚醒）とリフォーム（生活の改革）であるとおっしゃいました。私たちが御心に従って善意を求めるとき、この二つの要素が必要です。つまり①日々聖霊を受け、新しい命をいただくこと、②良い習慣を身に着けることです。

日曜日 神は善

Q. 神様がご自身の善を表す方法は？

A. 出 33 : 19→賜物 詩 25 : 8→教え 詩 86 : 5→施し 詩 107 : 21→御業

ナホ 1 : 7→砦、知っていて ロマ 8 : 28→万事が益に ヨハ 14 : 9 ヘブ 1 : 2、3→御子

Q. 神の善意はあなたの人生をどのように変えましたか？

A. 例) 罪人の私に賜物を与え、教え、御業を示される主に、先取りの感謝を捧げる人生に。

月曜日 すべての人が罪を犯した ロマ 3:12~20

Q. 自分自身が罪人であることを知ることは、あなたの人生をどのように変えましたか？

A. 例) 罪人である私を、それでもなお主は用いようとされる。そこに謙遜と感謝と献身、鍛錬が生まれているのかもしれない。

火曜日 神の律法と善意 ロマ 7:7~12 詩 40:8

Q. 律法の必要は？

A. ロマ 7 : 7~12→罪を知るため

Q. 喜びを生むはずの律法を重荷と感じるのは何故ですか？

A. 私たちの内には2つの法則があるから（ロマ 7 : 18、19）。

日々、聖霊をお迎えし、御言葉を糧に、新しい心（永遠の命）を養い、新しい願いを起こされ、良い習慣を身に着けてゆくならば、律法は喜びとなります。

水曜日 善に歩む エレ 13:23 木曜日 表された善意 エフェ 2:10、テト 2:14

「教育、教養、意志の力、人間の努力などいずれも、それぞれ大切な役割をもっていますが、心を新たにする能力は全くないのであります。もちろん、私どもの行動にただ外面的な正しさは与えるかも知れませんが、心を変えることもできなければ、生活の源泉をきよめることもできないのであります。天よりの新しい生命がその人の内部に働かなければ、人は罪よりきよめられることはできません。この力というのはキリストであります」（『キリストへの道』16）。

Q. 私たちが良くなる方法は？

A. ① 詩 51 : 12、51 : 10（口語）→聖霊を迎え、永遠の命をいただき、御言葉を糧とする。

② 詩 119 : 9→御言葉に従った良い習慣を身に着ける。

Q. 恵みによって救われた私たちに何故良い業が必要ですか？

A. 世に主を知らせるため。救いの目的は回復、良い業だから。ただ救いの根拠は恵み、十字架。今一度聖霊をお迎えして、新しい命をいただき、新しい願いが起こされ、実行させていただき、良き習慣を身に着けましょう。